

令和6年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業でプリントを使用したり、家庭学習の課題を設けたりすることにより、各学年とも基本的な計算力や数の性質への理解が身に付いている。
- ・タブレットを活用するなど生徒の活動を工夫することにより、数学に対する興味関心が高まったと考えられる。

(2) 課題

- ・問題解決などにおいて、粘り強く考え、その過程を振り返ったり、考察を深めたりする過程に課題があると考えられる。授業を通して、既習の内容を基に数量や図形の性質を見だし、考察し、活用していく力を養っていく必要がある。
- ・身の回りの事柄を、数学を用いて解決する姿勢を身に付けられるよう、タブレット等のICT機器を有効に活用していく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	基礎・活用ともに目標値を上回った。	/	/
第2学年	基礎・活用ともに目標値を上回った。	基礎・活用ともに目標値を上回った。	/
第3学年	基礎・活用ともに目標値を上回った。	基礎・活用ともに目標値を上回った。	基礎・活用ともに目標値を上回った。

(2) 分析（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	2つの比を読み取る問題に課題がある。	図形について、特に平面図形の知識の定着が図れている。	データの活用について、目標値を上回るものがあるが、読み取る問題に課題がある。
第2学年	全体的に目標は上回っているものの、空間図形の表面積や体積を考える問題に課題がある。	全体的に目標は上回っているものの、文章題から一次方程式を立式することや、文字式を説明する問題に課題がある。	目標値をやや下回るものもあるが、データの分析の傾向では目標値より高い結果となった。
第3学年	1次関数のグラフについて、直角三角形の合同条件に付いての知識に課題がある。	連立方程式や箱ひげ図の問題の読み取りに課題がある。	目標値は上回っているが、連立方程式や関数の応用問題への取組に課題がある。

	題がある。		題がある。
--	-------	--	-------

3 授業改善のポイント（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	授業内で小学校の復習から理解度を再確認し、プリントや小テストを用いて知識の定着を図る。	ICTや模型を用いることで、平面図形の理解をさらに深め、空間図形の理解にも努めていく。	習熟度別授業において、各コースの課題に応じて伝える力を養うために、協働学習を積極的に取り入れていく。
第2学年	デジタル教科書等ICTを有効に活用して、図形的性質の理解を促進する。プリントやタブレットを用いて、より一層の技能の定着を図る。	習熟度別少人数学習を活かし、習熟度に応じた適切な問題を選び、学び合い活動の中で相手に伝えることを考えることで多様な考え方を身に付けさせる。	基礎・基本の定着を図り、小テスト等を行うことで、自分の苦手な部分を理解し、克服していくことで、意欲的に学習に取り組ませる。
第3学年	総復習の問題集を用いて、問題数を多く解くことにより、基礎基本の定着をより一層図っていく。	問題の求め方を復習してだけでなく、解き方の根拠を考えたり、他者に説明したりすることを授業の中で取り組んでいき、理解を深めていく。	習熟度別少人数学習を活かし、習熟度に応じた適切な問題を選び、問題が解けたり、苦手な問題を理解してしたりして、達成感を得ていくことで、さらに意欲的に学習に取り組ませる。